

日本教育政策学会第 22 回大会

後援: 福島大学

大会テーマ: 災害復興と教育政策

日本教育政策学会第 22 回大会を福島大学にて開催いたします。本学は規模の小さな国立大学ですが、旧教育学部の伝統と新しい人間発達文化学類の展開に基づき、地域の教員養成・人間発達支援者の養成を担っています。その本学で、教育政策の学術研究を議論する全国学会を開催できることになりました。公開シンポジウムでは、東日本大震災からの復興途上にある福島県の教育政策について議論を行います。震災から 4 年、福島県の学校現場はなおも困難を抱えつつも、着実な復興の進捗が見られます。教育復興の歩みとこれからの目を向け、教育政策の現場・研究でご活躍されてきた方々をお招きし、福島大学、学校、教育委員会、研究者それぞれの立場から「福島の復興のための教育政策」をお話いただきます。

課題研究では「自治体教育政策における構造改革と教育的価値の実現」という新しい課題研究プロジェクトのスタートの年度です。公開研究会などの取組みを踏まえて、示唆に富む課題提示と活発な議論が行われることを確信しています。

また、大会前日の 7 月 3 日(金)には、震災と原発事故で多大な被害を蒙った浜通り地方にご案内し、教育復興の現場を間近に見ていただく視察を実施いたします。たくさんの会員のご参加申し込みを頂き、大変ありがたく存じます。全国的な注目を集める県立ふたば未来学園高校にご案内し、福島の復興の「現場」をご覧頂きます。

会員各位のご参加を大会実行委員会一同お待ち申し上げます。

第 22 回大会実行委員会

委員長 谷 雅泰

日程

※網掛け部は「大会案内」からの変更箇所

○大会前日 7 月 3 日(金) 復興視察 ※詳細は 7 頁

○第 1 日 7 月 4 日(土)

理事会 10:15~11:45 【学類大会議室】	休憩・昼食 【(編)学類大会 議室】	自由研究発表 13:00~16:25 【M1、M2】	総会 16:40~18:00 【M1】	懇親会 19:20~21:20 ローレン&リーフ (福島駅西口)
受付 12:00~ 【M 講義棟 1F ロビー】				

(編)=年報編集委員会(11:45~)

○第 2 日 7 月 5 日(日)

課題研究 9:30~12:00 【M1】	休憩・昼食【(シ) 学類中会議室】	公開シンポジウム 13:00~16:00 【M1】
受付 9:00~ 【M 講義棟 1F ロビー】		

(シ)=公開シンポジウム打ち合わせ

会場

福島大学 (福島県福島市)

- ・所在地 : 〒960-1296 福島県福島市金谷川 1 番地
- ・最寄駅 : JR 東北本線 金谷川駅(徒歩 10 分)

【仙台空港から】

仙台空港→仙台空港アクセス線→仙台駅→東北新幹線→福島駅→東北本線→金谷川駅
(約 1 時間) ※仙台空港アクセス線から名取駅で東北本線に乗り換え、在来線利用で約 1.5 時間。

【福島空港から】※大阪(伊丹)[一日 4 往復]、札幌(新千歳)[一日 1 往復]便のみ

福島空港→リムジンバス→郡山駅→東北本線→金谷川駅(約 2 時間)

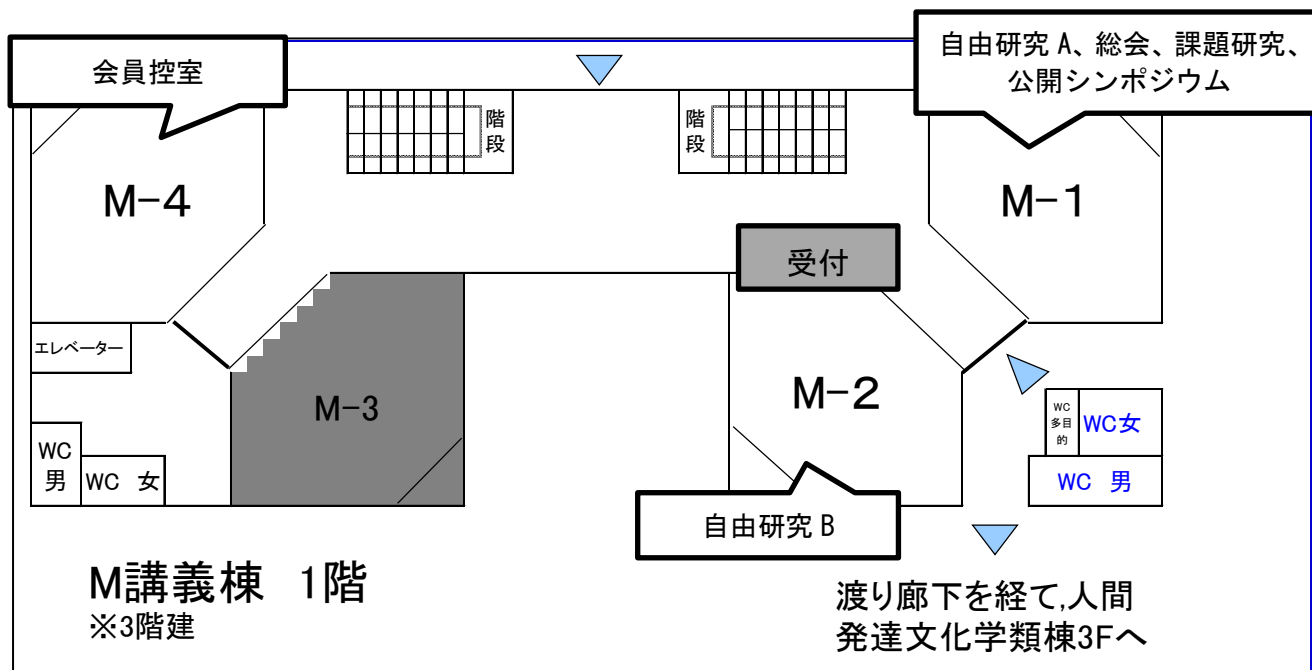
【新幹線】※東京方面からのアクセスは新幹線が便利です。

東京駅→東北新幹線→福島駅→東北本線→金谷川駅(2~2.5 時間)

※「はやぶさ」、「はやて」、「こまち」は福島駅に停車しません。「なすの」は郡山・那須塩原止(郡山駅から東北本線で約 35 分)です。行き先・停車駅にご注意下さい。

会場図

M 講義棟(受付、自由研究発表、総会、課題研究、公開シンポジウム)

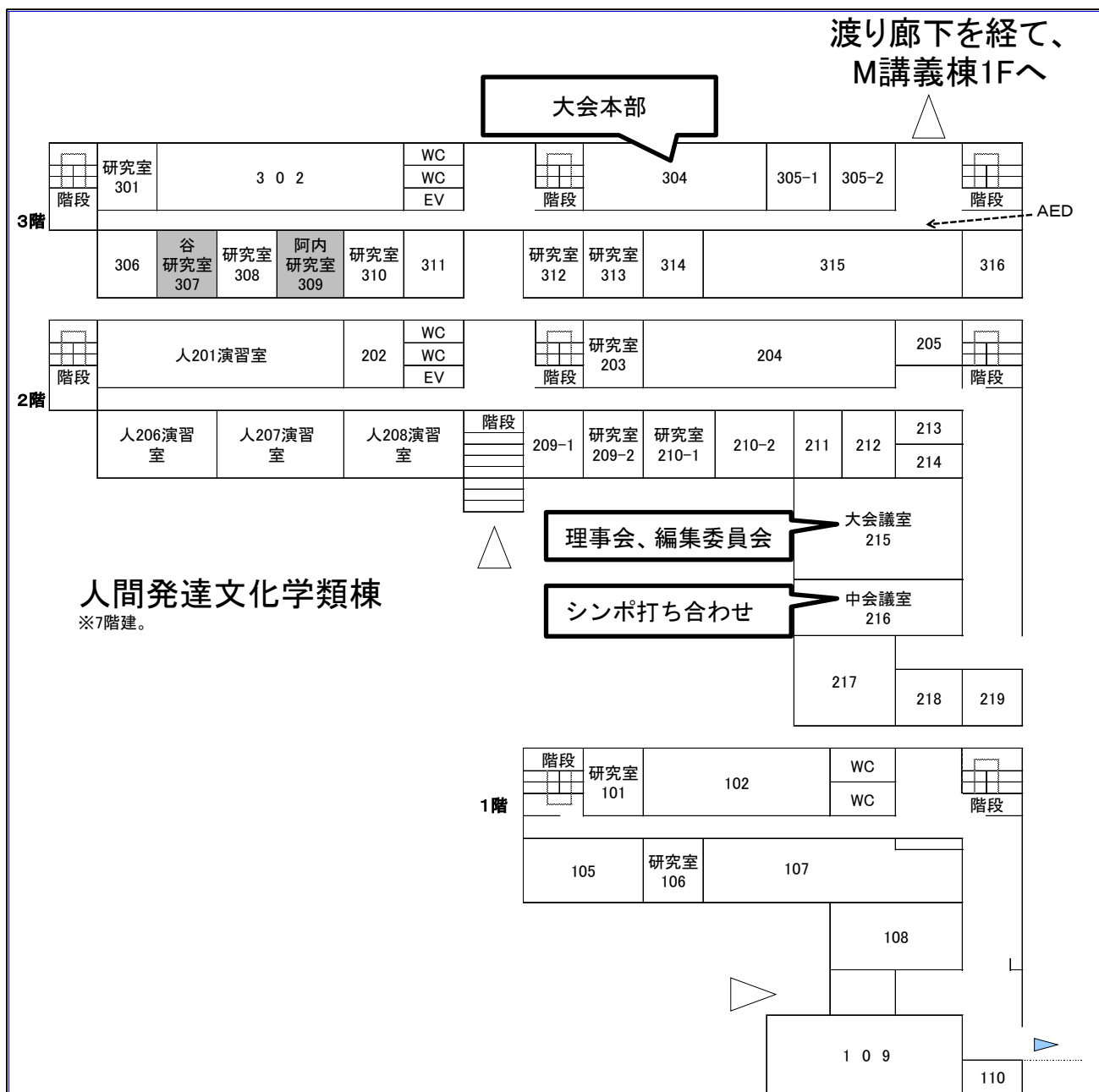


※M3 教室は教員免許更新講習で利用予定です。

※隣接する校舎で、耐震工事が行われます。大会期間中、騒音等でご迷惑をおかけします。

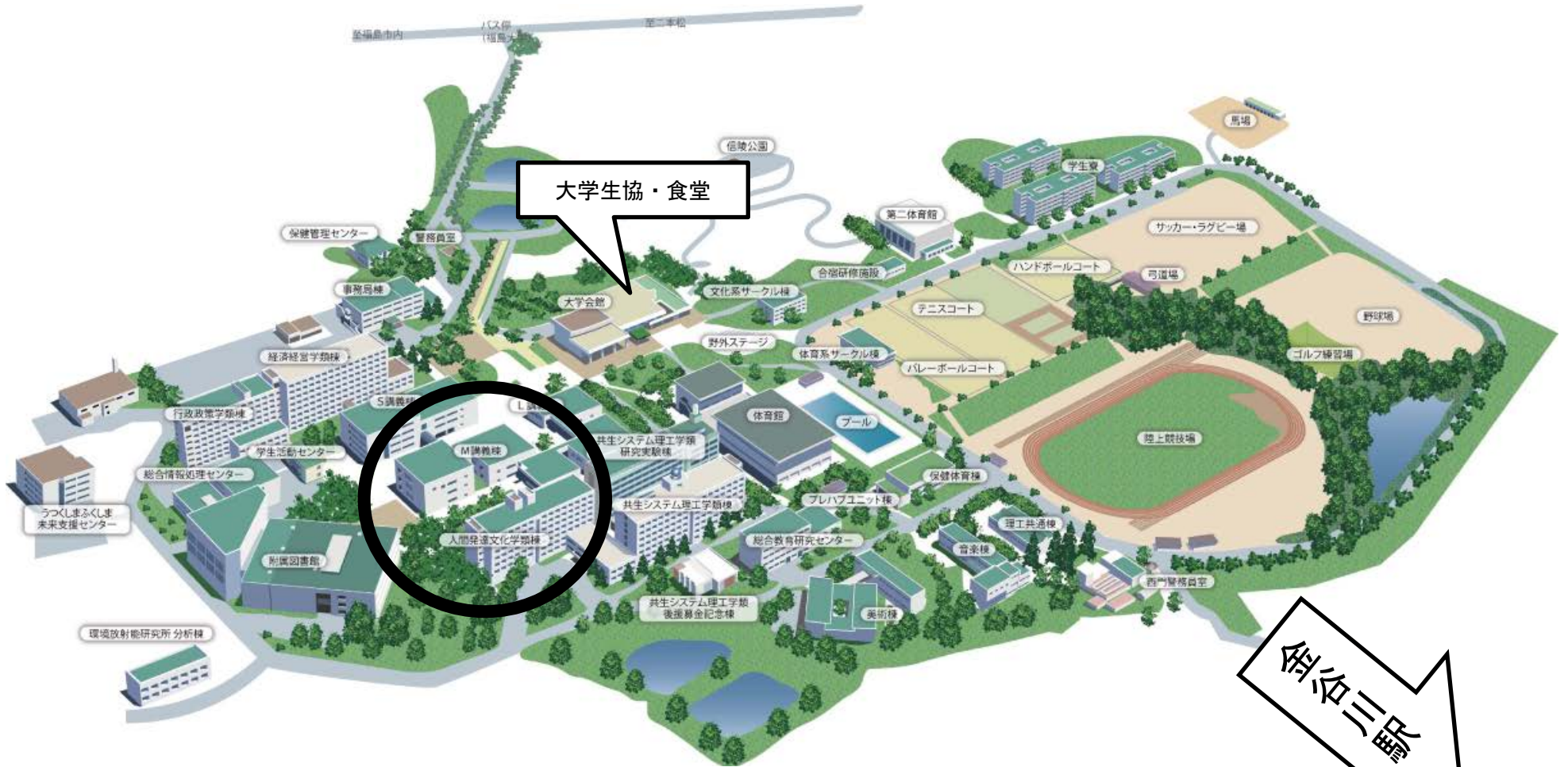
会場図

人間発達文化学類棟 (理事会、編集委員会、大会本部)



※M 講義棟から渡り廊下を経由しますと、人間発達文化学類棟の 3F に入ります。

福島大学全体図



※金谷川駅から M 講義棟(自由研究、シンポジウムなど)、人間発達文化学類棟(理事会、編集委員会など)へは徒歩約 10 分。

大会参加要領

- | | | |
|-----------|-------------------|--------------|
| 1. 一般受付 | 7月4日(土) 12:00～ | M 講義棟 1F ロビー |
| | 7月5日(日) 9:00～ | M 講義棟 1F ロビー |
| 2. 大会参加費等 | 一般会員 | 4,000 円 |
| | 学生会員・当日会員 | 2,000 円 |
| | 会員外の公開シンポジウムのみ参加者 | 無料 |
| 3. 懇親会費 | 一般会員・一般の当日会員 | 4,500 円 |
| | 学生会員・学生の当日会員 | 2,000 円 |

4. 昼食

第1日目(7月4日(土))は(理事・編集委員の方々を除いて)お弁当のご用意はいたしません。各位でご用意下さい。※4日(土)大学生協は食堂、売店とも営業。

第2日目(7月5日(日))は、避難地域で活動していた女性農業者たちを支援する「かーちゃんのカプロジェクト協議会」のお弁当を、ご希望の方にご用意いたします(お茶付 600 円[当日])。5日(日)のお弁当をご希望の方はメールにて(6月25日(木)締め切り)お申し込み下さい。※5日(日)大学生協は売店のみ営業。
jasep2015.fukushima@gmail.com

なお、大学周辺にコンビニエンスストア、飲食店はほとんどありません。

5. 宿泊など

宿泊先・航空券等のご案内はいたしません。各位での手配をお願いします。JRA 福島競馬の開催等によって、市内宿泊施設の混雑が予想されます。お早めのご予約をおすすめします。

- | | |
|----------|-------------------------------------|
| 6. 書籍等販売 | 書籍等の販売をご希望の方は、事前に大会実行委員会にお申し込みください。 |
|----------|-------------------------------------|

発表要領

- | | | | |
|---------|--------|-------|---------------------|
| 1. 発表時間 | 自由研究発表 | ・個人研究 | (口頭発表者が1名の共同研究を含む) |
| | | 30分 | (発表20分、質疑・討論10分) |
| | | ・共同研究 | ※今回はお申し込みがありませんでした。 |
| | | 60分 | (発表40分、質疑・討論20分) |
- ※全体討論の時間は設けません。

2. 発表資料 自由研究発表 **60部** ※部会数の減少により、部数を変更しました。
※お預かり及び学内での印刷はできません。

3. 発表用機材 PC(Power Point インストール済)、プロジェクター、スクリーン

研究発表申込みの際に機器使用をお申し出いただいた方は、データを USB メモリに入れてご持参下さい。念のため、「.pptx」のほか、「.ppt」で保存したデータもご持参下さい。MacPC をご利用の方は、PC・接続用アダプターをご持参下さい。入力は D-Sub15 ピン(標準的なアナログ RGB)です。

4. 欠席の場合 発表者がやむを得ず欠席する場合は、下記に必ず連絡してください。

前日まで jasep2015.fukushima@gmail.com (メール)

当日 (阿内携帯、当日のみ)

連絡事項

1. 学会費納入

会員の方は、本年度会費(一般 8,000 円、学生・院生 5,000 円)を学会事務局デスクにてご納入ください。新規入会を希望される方は、本年度会費に入会金(2,000 円)を添えてお申し込みください。

2. 理事会 7月4日(土)10:15~11:45 人間発達文化学類棟 2F 学類大会議室

理事の方はご出席下さい。昼食は実行委員会でご用意いたします。金谷川駅からご案内を出しますので、その誘導に従ってお越し下さい。理事の方々の受付は学類大会議室で承ります。

3. 編集委員会 7月4日(土)11:45~13:00 人間発達文化学類棟 2F 学類大会議室

編集委員の方はご出席下さい。昼食は実行委員会でご用意いたします。金谷川駅からご案内を出しますので、その誘導に従ってお越し下さい。編集委員の方々の受付は学類大会議室で承ります。

4. 公開シンポジウム打ち合わせ 7月5日(日)12:00~13:00 人間発達文化学類棟 2F 学類中会議室

報告者・コーディネーターの方はご出席ください。昼食は実行委員会でご用意いたします。

5. 課題研究打ち合わせ 7月5日(日)9:00~9:30 M 講義棟 M1 教室

報告者・コーディネーターの方はご出席をお願いいたします。

6. 会員控室 M 講義棟 M4 教室 休憩・打ち合わせなどにご自由にご利用下さい。

大会前日に福島県内の復興視察を企画しております。人数にはまだ若干の余裕がございます。ご希望の方はお早めにお申し込み下さい。

[日程]

10:30	福島駅西口 改札前[集合]	お荷物は少なめに お願いします。	14:25	同校教員との 懇談	5校時、授業担当がな い先生方との懇談
12:30前	ふたば未来学 園[着]	昼食は食堂(400 円)。	15:30	ふたば未来学 園[出発]	<u>国道6号再開通区間 を通過します。</u>
13:00	校長講話		18:00	福島駅西口 [着、解散]	
13:45	5校時	授業見学 (詳細調整中)			

[概要]

双葉郡(浪江町、葛尾村、大熊町、双葉町、富岡町、楡葉町、川内村、広野町)は福島第一原発の事故で甚大な被害を受け、一時はその大部分に避難指示が出されました。その後、復興の進捗にあわせて、双葉郡教育長会を中心に福島県教育委員会、文部科学省が連携して設立した新設校が「ふたば未来学園」です。2015年には旧広野中学校の校舎を利用して高校部分のみを先行開校しています。

当日は、学校校舎内のご案内の他、授業の様子も見学できる予定となっています。また、同校の生徒が利用する食堂にて昼食をとります(400円)。

福島市への復路は国道6号再開通区間を通過します[ルートを変更しました]。

自由研究発表は、個人研究30分(発表20分、質疑・討論10分)です。各発表の間に5分間の調整・休憩時間を設けます。

分科会 A	13:00~16:25	M 講義棟 M1 教室
-------	-------------	-------------

司会 荒井 文昭 (首都大学東京) ・ 村上 純一 (文教大学)

- 13:00~13:30 学校規模適正化に関する政策過程
—政令指定都市 A 市を事例として—
○植田 啓嗣(早稲田大学)
木村 康彦(早稲田大学大学院・院生/
日本学術振興会特別研究員)
小野まどか(国立教育政策研究所)
- 13:35~14:05 大阪市における教育改革実施の動向
—小中一貫校・学校選択制を中心に
濱元 伸彦(京都造形芸術大学)
- 14:10~14:40 小規模自治体における教育事務処理体制の広域化の検討
牧瀬 翔麻(筑波大学大学院・院生)
- 14:45~15:15 災害後における子どもの心のケアの課題
—教育復興担当教員の再評価を通して—
安部 芳絵(工学院大学)
- 15:20~15:50 夜間中学校における就学保障に関する研究
:1940-1960年代を中心に
横関 理恵(北海道大学大学院・院生)
- 15:55~16:25 教育に浸透する自衛隊と教育行政の状況
永井 栄俊(立正大学・非常勤講師)

司会 角谷 昌則（広島国際大学） ・ 島田 桂吾（静岡大学）

- 13:00~13:30 道徳の教科化の問題点
青木 茂雄（東京高法研/立正大学・非常勤講師）
- 13:35~14:05 特設「道徳」の成立過程
—1957 年度教育課程審議会における議論に着目して—
澤田 俊也（東京大学大学院・院生）
- 14:10~14:40 1990 年代以降のニューオーリンズ市における教育ガバナンス改革
：市場原理に基づく学校管理の理論と実態
服部壮一郎（名古屋大学大学院・院生）
- 14:45~15:15 ドイツにおける教育政策の「新自由主義」的理解の諸相
前原 健二（東京学芸大学）
- 15:20~15:50 ロシア教育アカデミーによる連邦レベル教科書検定への関与の在り様
黒木 貴人（広島文化学園短期大学）
- 15:55~16:25 失敗した教育への政治介入
—イギリスにおける「学校教育の水準と枠組に関する 1998 年法」導入を題材に
広瀬 裕子（専修大学）

- 1 開会の辞
- 2 議長団選出
- 3 会場校挨拶
- 4 会長挨拶
- 5 報告事項
 - (1) 2014 年度会務報告（事務局長）
 - (2) 年報編集委員会報告（年報編集委員長）
 - (3) 課題研究プロジェクトについて（担当理事）
 - (4) その他
- 6 議事
 - (1) 2014 年度学会活動について
 - (2) 2014 年度会計決算及び会計監査について
 - (3) 2015 年度学会活動計画及び会計予算について
 - (4) 第 23 回大会（2016 年）会場校及び日程について
 - (5) その他
- 7 議長団解任
- 8 閉会の辞

情報交換の場として懇親会を企画しました。大学から電車で移動をお願いします。

お誘いあわせのうえ、是非ご参加下さい。

懇親会費	一般会員・一般の当日会員	4,500 円
	学生会員・学生の当日会員	2,000 円

テーマ：自治体教育政策における構造改革と教育的価値の実現

前期の到達点と課題を踏まえ、今期は標題による課題研究プロジェクトがスタートしています。自治体教育政策における教育制度を対象にした構造改革は、どのような手法で展開されており、どのような価値を実現しようとするものであるのか、また、それは教育的価値の実現を志向する諸制度・諸実践にどのような課題を提起しているのかを解明します。

第 1 回の公開研究会を去る 3 月 21 日（土・祝）、専修大学（神田キャンパス）を会場にして開催し、山本由美氏（和光大学）による報告「小中一貫校の現状と課題」と谷口聡会員（中央学院大学）による報告「公設民営学校をめぐる政策動向分析」を受け、研究協議を行いました。これに引き続き、大会では以下の報告と研究協議を行います。

報告 1 構造改革下の教育的価値と自治体教育政策の展開 中嶋 哲彦(名古屋大学)

報告 2 自治体教育政策が教育実践に及ぼす影響 ―授業スタンダードを事例として
勝野 正章(東京大学)

司会 武者 一弘(中部大学)

テーマ：福島の復興のための教育政策

本年度の公開シンポジウムでは、東日本大震災からの復興の途上にある福島県の教育復興について、教育政策の観点から議論を行う。東日本大震災は、福島県のみならず東北地方、とくに太平洋沿岸の各県に甚大な被害をもたらした。福島県では双葉郡大熊町、双葉町にまたがる区域に置かれていた福島第一発電所の事故により、学校現場にも大きな影響が出た。現在でも約 12 万人が県内外での避難生活を続けており、帰還の見通しの立たない地域も残されている。

一方で、震災から丸 4 年を経て、なお困難を抱えつつも学校では着実な復興の進捗が見られる。公開シンポジウムでは、震災の被害状況を振り返るのではなく、震災以後の復興の歩みとこれから目指す方向に視線を向けて、教育政策の現場・研究で活躍されてきたシンポジストにご登壇いただく。福島の復興の状況を教育政策という点から俯瞰し、福島県の復興の目指す方向を県内外に発信する機会としたい。

- | | |
|-------------------|------------------------|
| 報告 1 福島大学の取り組み | 三浦 浩喜(福島大学・副学長) |
| 報告 2 双葉郡教育長会の取り組み | 石井 賢一(富岡町教育委員会・教育長)(※) |
| 報告 3 ふたば未来学園の取り組み | 丹野 純一(ふたば未来学園高校・校長)(※) |
| 報告 4 研究者の立場から | 佐藤 修司(秋田大学・教授) |
| 司会・コーディネーター | 谷 雅泰(福島大学・大会実行委員長) |

(各報告者の題目は仮)

※報告順を変更しました。

日本教育政策学会第 22 回大会プログラム

2015 年 6 月 1 日 印刷・発行

日本教育政策学会第 22 回大会(後援:福島大学)

実行委員会

委員長 谷 雅泰 (福島大学)

事務局長 阿内 春生 (福島大学)

スタッフ

〒960-1296 福島県福島市金谷川 1 番地 福島大学人間発達文化学類 阿内春生研究室内
TEL. 024-548-8120(阿内研究室)、または 024-548-8118(谷研究室)

E-Mail jasep2015.fukushima@gmail.com

緊急時(当日のみ)